

式了育の葉言

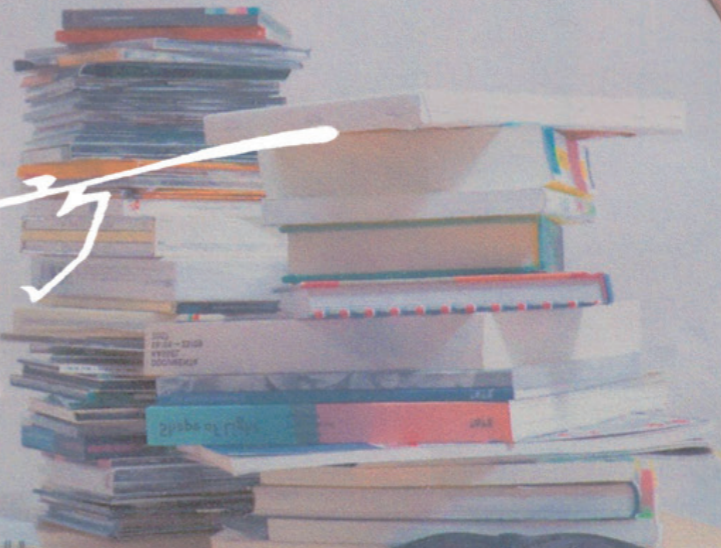


この出資は。その  
「お断り」もある。  
「お断り」もある。  
「お断り」もある。

ハ六六半コ  
ロージエの車軸と  
「お断り」もある。  
「お断り」もある。  
「お断り」もある。



# 言葉の肌



Handwritten Japanese text on a torn paper strip at the top right.

**Texture**

想い追いつめ手にとって  
あらゆる角度で登りつめる

触覚の感情を  
実態の証明を  
正確の称号を  
到達の眺望を

存分に寸分に興奮し感覚に躊躇なく再現する逸脱に育てられた私らは  
超現実に通かれ細部現実を灼きつける

手肌で頬で髪から顔で  
胸とか腹で足腰で  
香りで舌で目で傷で

ざらついた  
べとついた  
ぬめりきった  
尖った

硬い  
柔らかい  
高い低い際どい

まるいぬるい冷たい  
埋まりたい嵌りたい温もりが  
爛れてぼやけて惚けた嘘をみやぶる

質感を

もとめて追って

悦に入る

¥¥¥¥¥¥¥¥¥¥

¥そこそこの¥

¥いいかんじ¥

¥うけそうな¥

¥けいはくの¥

¥¥¥¥¥¥¥¥¥¥

凝視するにも値しない  
去ってゆくお前らには

わからないだろう

この悦が

質感に悩める私らよ  
窓の外には何がある  
景色のままを手に掬い  
脳に隠した箱庭に  
移して愛でて育てゆく

フェンスに沿った桜の木も  
花蜜吸うてる四十雀も  
触れぬ悲しみ燻らせて  
映して撫でて育てゆく

中空の仮定にとり憑かれた私らは  
実証の忠実に翻弄し  
実証の忠実に翻弄され  
満ちては欠けてをくり返す

死の質感が迫れどもその質感をも凝視して

育  
て  
方  
の  
言  
葉

自分は二十年、歌詞や詩を書き作品として発表していたのですがここ数年はその創作をすっかり止めていました。それは他の表現方法を得たためそれにのめり込んでいるという側面もありますが、もう一方の理由に日本語の世界ではもはや言葉で伝えきれる範囲が狭くなっている、縮小していると考えたからでした。そのように考えた原因は日本語世界で表現される語彙数の減少、例えばこれは自分の眺めていたポップス、大衆音楽においてですが、インターネットで頻繁に”最高”という言葉が使われています。主によい音楽と出会ったとき、感覚にぴったりと当てはまったライブに行ったときに「最高だった」、「最高の日だった」と書かれているのですが、徐々に目にする頻度が増え今では最も最速で表現することのできる定型となりました。演者の感想が「最高の日だった」、そしてそれを体験した聴者も「最高だった」と書き合っている幸福に水をさすのも大人気ないかもしれないですが、それが何十万、何百万人ともなってくると問題へと切り替わります。まるで0(通常)と1(最高)しか無い社会で生きている現実だけがインターネットに記録されている状況です。こうなってしまう原因も想像できます。哀しいかな、とりわけSNSでは反応にスピードが重要視されます。ゆえ、感受が表現へと走れば皆が多く使っている語彙を容易に選び、安心に包まれてことなきをえる、送信、完了。これで済むためです。

また、言葉はGPSのような働きをします。敬語や地方の訛り、またはテレビから発信された単語やネットスラングなどの訛り表現を使うことによってあなたがどの目線で、どこに所属してどの社会的立ち位置から話しているかが現れます。それはあなたの言葉があなた自身の履歴書を作っていると同じことだと言えます。あなたが好む場所、所属したい社会で使われている語彙を模倣

することでそこに所属していると感じ、満足感や安心を得ることはできますが、所属しているということは常にあなたはその社会での言語ルールによってジャッジされ続け、自身の言語感覚を育むことができない状態にあります。もしあなたが誰かから暴力を受け、虐待されているにも関わらずあなたの所属するグループがそれを”かわいがり”という言葉によってその状態をジャッジすれば、あなたはその判断のなかで生きていかなければなりません。あなたがそれを虐待だと判断してもそれはその社会のなかで却下され続けるでしょう。

その言語社会はあなたにとって地獄でしかありえません。

ここまで書いて気づきましたが、今の日本語社会はテレビから生まれた語彙によって影響を受けた年寄りの世代が支配するカルトなのかもしれません。縮小された語彙のなかで生温いモッシュピットに向け、もごもごと呻き頷きあっているような。

話を戻しますが、もし、あなたが自身の言語感覚を持ち、表現することができるようになれば、あなたは自分自身の言葉、思考、行動と生きてゆくことができます。朝起きてその気持ちを、美味しいものを食べてその幸せを表現できるようになることは自己に対して的確になり、嗜好から個人を保てることができます。それは健康を保つために運動するように、言語感覚を思考の運動によって育てていく必要があります。どのように自分自身の言葉を育てていくのか？これらは自分が五年ほど実践していることで、と言っても自分は極端な人間なのでこれらが当てはまるか否かは判断に任せますが、書いてみます。



01

・焦らない。ゆっくり物事を考えて表現する。アホみたいなことから始めますが、他人の表現速度、特に大勢に流されないようにする。あせらず端折らずに丁寧に思考し文章を書く、話す。例えば、ここで、いま、1980年代から現在まで日本語の社会で生きた身としては容易に”スローライフ”という言葉が脳裏をかすめますが、これが私たちが浸ってきた日本語の怖さで、意見を正確に汲み取らず近隣にある聞き慣れた言葉をひろって乱暴に使うことで本意を捻じ曲げる、そして”スローライフ”という言葉の裏に含有する嘲笑家たちの批評や悪意にひっぱられて粗雑な言語社会に引き戻されないよう気をつけたいところです。

02

・テレビから発信された言葉、ネットスラングなどの使用をやめる。おそらくこれだけでだいぶ変わってきます。自分は日本語のなかで極力「!」、このエクスクラメーションマークを使うのを避けています。理由はある日このマークが、現代の日本語社会に「えい！」と飛び込んでいかなければならない反動からきているのではないか、何かエナジードリンクのような使い方をされているのでは？と気づいたからです。

03

・詩を書く。詩を読む。イギリスの音楽ライター、エマ・ウォーレンさんのインタビューを読んでいた際、彼女の師に当たる人から言われたことで重要だったことは音楽ライターになりたければ詩を沢山読みなさい、と教わったことからわかるように、抽象的な感受を具体的に言葉で表現するには詩的な表現を身につけることが望ましいからです。これはひとりで書くことも良いですが、友人知人などと連歌のように短い詩をつなげていくなどの遊びもおすすめします。

・あなただけが好きなもの、マイナーだけでも好きなものについて考える。誰しもこういう他人と違う嗜好があると思いますが、それがあからこそがあなたが大勢と違う大切な証拠なので、それが他と違うジャッジ、ルールを作ることになるということを認識してください。

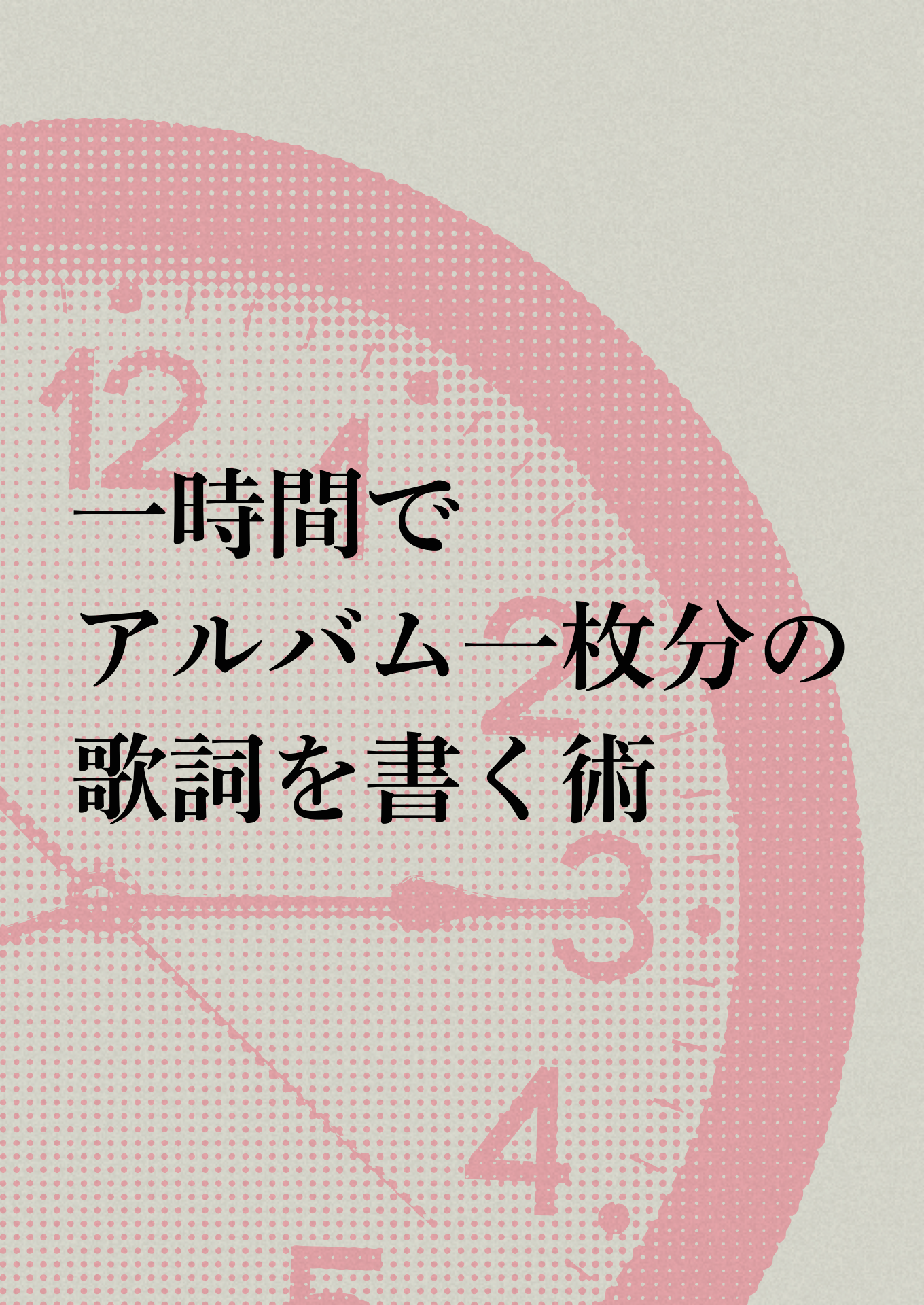
・その表現が他者に伝わりにくいものだったとしても自身のなかでしっくりきているのであればそれを採用する。代わりにフォント、手書き、行間、大きさ、色など、他の要素を変えて伝わるように近づける。これはある音楽雑誌より、「歌をうまく録音する方法」を訊かれた際、「歌をうまくうたう必要はない。気持ちよく本人が歌えていればよい。代わりに編曲をその歌に合うように変える」と答えたのですが、それは「ジャックス / マリアンヌ」をはじめて聴いたときに確信したことで、うまく歌えることは必ずしも歌詞をうまく伝えることと比例しません。あの歌詞にはあの歌い方、あのアレンジでないと伝えきれない情緒があるからです。あなた自身の身丈は変わりません、それに見合う服を選ぶ方を考える方が自然です。

ひょっとすると他にもあったかもしれないですが、今思い出せるものは捨りだし全て挙げました。自分もどういう風に言葉を、日本語を考えていけばいいのか、日々五里霧中のなかで発展している状態なので、これを読んで同じテーブルに座って考えてくれる人々が集まれば、私たちは日本語を、消費社会から遠ざけて育ててゆくことができるでしょう。

先日あるメールマガジンで知った、フランケンシュタインの作者、メアリー・  
シェアリーさんが書いた一節、

“Let us … seek peace … near the inland murmur of streams, and the  
gracious waving of trees, the beauteous vesture of earth, and sublime  
pageantry of the skies”

200年前に書かれたこの一節、いまの私たちの生活とくらべればより死の  
近くで暮らしていた人が自然を眺めその心地を描写した美を、私たちもまた  
いかなる状況であろうと言葉に時間を与え、200年後に向けて正確に描写  
することが、日本語社会を正気に保つ唯一の方法なのではないでしょうか。



一時間で  
アルバム一枚分の  
歌詞を書く術

この文章は昔書いたことのあるものでいま考えると少し軽薄な、商業的思考の定型にはまっているところがありますが、例えば詩を書きたい、歌詞を書きたい、言葉で表現してみたいがどこから手をつけてよいのかわからないという人にとって助けになるのでは、と考えここに掲載しておきます。

---

## 「一時間でアルバム一枚分の歌詞を書く術」

シンガーソングライター、ラッパーと話していると、アルバムがなかなか完成しない理由のひとつに「歌詞が出来ないから」という意見をよく聞きます。ラッパーであれば、歌よりも多くの言葉数が必要になってくる、歌ならばラップよりも言葉数は少ないがそれだけ単語を熟考しないといけないのでどちらも大変、しかもそれらを作り発表するとなると命がけです。

もしも、あなたが詩や作詞に挑戦してみたいがその一歩が見当もつかない、もしくは明日締め切りなのに歌詞ができない、会社はこの時勢にも関わらず予算抱えて待っている、私と心中する気だ。なのに、なのに、これから夜勤なのだ、という二進も三進もいかない緊急事態を救済する術があります。

それは「変換作詞術」です。

- 一、まず、あなたの書きたい内容、方向とは正反対の歌をみつけます。
- 二、その歌詞に出てくる単語を一つずつ正反対のことばに変換していきます。
- 三、全体のつじつまが合うようにまとめていきます。

例として自分が活動していた(((さらうんど)))の「夜のライン」という歌詞でこの術を実演しますが。シティポップでしたので都会的な詞です。以下。

君が夜を呼べば 空に月が灯り  
暗い夜の街で 耳を研ぎ澄ました  
人をかき分けて 網をくぐり抜け  
見果てぬその夢に 君の手を引いてく  
そうまさに  
読みかけの小説を 目の前に広げた様  
飛び出しそうな心 目と目を合わせながら  
じれったいみえっぱり捨てたいと頷き  
越えたい夜のライン 二人の足が  
飛び越えてぬりかえた 足音を響かせて

この歌詞の単語をひとつずつあなたの思う正反対へと変換し、全体のつじつまをあわせ馴染ませてゆきます。たとえば、「君が夜を呼べば」なら「僕は朝に起こされる」というふうに変換します。この場合、詩的な表現を用いたいの

「呼ぶ」の反対を「呼ばない」とせず、「呼ぶ側」と「呼ばれる側」にします。そして前後の言葉とうまく馴染むよう、朝なので「起こされた」にする。

そうして変換し、出来た歌詞がこちらです。

僕は朝におこされた 大地に太陽がかけをつくる  
あかるい朝の田舎では 口がのんびりするね  
空気をあつめたよ 両手につかまえて  
見飽きた現実に 僕の足は立ちさった  
なんとなく  
読むまえのマンガを隠してすてたような  
引っこみ思案な体 お互い、別々の方を向き、行った  
即座に謙虚さが「拾うんだ」と首を横に振り  
留めてたい朝の混沌を ひとりの手で  
なにもせずそのままに 静けさのなかのままに

「ライン」という単語は歌詞の中で「線を引く、分けする」という意味で使用しているので反対語を「分けしない=混沌」としました。

このあたりあなたの個性の見せ場です。あなた自身のルールやアイデアで考えて表現の芽生えを楽しんでください。この歌詞の雰囲気を感じとってみれば感じると思いますが、「シティポップ」とは正反対の「サイケなフォークソング」にぴったりな歌詞に生まれ変わりました。オープンルールで録音された埃っぽい

アコースティックギターのアルペジオが聴こえてくるような詞です。

この術さえあれば、一時間でアルバム一枚分書きあげることにも可能です。実際、この歌詞を変換してまとめて完成させるまで八分でした。盗作疑惑もおこらない、悪魔のような術なので、あくまで時間がない、切羽詰ったときにおすすめしますが。

さらにもうひとつ。この「変換作詞術」を用いてある曲を変換すると、とても面白い詞ができました。

ハイウェイのライオンは吼えながら幻想で死んでいた  
すべてが変わる 革命の荒野  
おまえは冬が訪れないと肩を落としているがおれは仲間と浮かれている  
前にも言ったがおれに隠しごとなどない  
つぶらなAM5:00の朝焼け  
大人とは違う手口で  
山も地も雨もおまえも消しさってやるぜ

あの短い、そう、短い発射台  
おれは戦闘機の先頭で  
エンジン全開で高速で、そうだ、高速で駆け上がる



これは90年代後期に現れたとある二人組さわやかフォークコンビの代表的な曲を変換したものです。彼らのもっているイメージとは対照的な悪魔的で退廃的な内容になりました。さて、誰でしょうか。